

生活衛生関係補助金の改革案等への構成員の意見

○ 改革の全体像・方向性について

<構成員の御意見>

- ・健康や衛生という公益性があるから規制があり、当該指導を主体的に行うための経営振興や基盤整備は必要(大澤構成員)
- ・改革案の方向性は現在できる最善(古座野構成員)
- ・評価指標の設定手法にとどまらず、個別の活動が、公衆衛生の向上・増進という目的に照らして最適な内容になっているのかも検討する必要がある(飛松構成員)

○ 評価指標の設定、事業評価の実施

評価指標の作成

<構成員の御意見>

- ・客観的・数値的に表せる手法がベストだが、実際はなかなか難しい(池田構成員)
- ・仕分けはもっと効率的かつ合理的にすべきと求めているので、成果の可視化推進は必須(大澤構成員)
- ・衛生面の効果検証は難しく、生衛業の特性を踏まえた事業評価を行うべき(谷本構成員)
- ・都道府県センターの調整機能などについては、定量評価が難しい分野であるので、定性的評価も取り入れて、適切な評価指標を作らざるを得ない(飛松構成員)
- ・成果指標・活動指標については、成果指標を重くやるべき(飛松構成員)
- ・成果は数値で得られるものばかりでなく、地道にやっていくことが大切(前野構成員)

○ 国、自治体、団体等の役割を厳密に精査

事業実施団体への直接補助の導入

<構成員の御意見>

- ・組合は、如何せんクリーニング業の集まりであり、直接補助金をいただくより、全国センター経由で補助金をいただき、併せて、事業の指導がある現在の形が望ましい(小池意見聴取人)

都道府県センターの経営指導員に適材適所が徹底されるよう、都道府県に要請

<構成員の御意見>

- ・ 経営指導員による相談・指導事業は、生衛業施設の維持及び改善・向上、経営の健全化に係る相談・指導の受け皿として不可欠(池田構成員)
- ・ 知識・経験を評価するための公募を実施していくべき(古座野構成員)
- ・ 都道府県OBの天下りについては、「原則廃止」とした方が「改革」の言葉に相応しいのではないかと。ただし、知識・能力・意欲から見て適任者については、例外もあり得る(山岡構成員)
- ・ 経営指導員には有資格者や公庫からの受入府県が少ないことが不活性化の原因であると考えられる(山岡構成員)
- ・ 専門知識を有しておられる方についてまで、頭ごなしに否定することはおかしい(三根構成員)

○ 法の目的(生活衛生関係営業の振興、公衆衛生)に相応しい仕組みへの改革

生活衛生関係営業の振興

<構成員の御意見>

- ・ 公衆衛生だけでなく、買物弱者問題など産業構造の観点から保護が必要という視点も重要(芳賀構成員)
- ・ 生衛業が地域の見守り役やIT(情報技術)を取り入れた経営ができるよう支援していくことが必要(前野構成員)
- ・ 生衛若手ネットワークを構築してはどうか(町田意見聴取人)
- ・ 生衛業は地域の活性化や地域の衛生について非常に影響力があり、国と業界が協力して業の振興・発展に向けたサポートが必要(村橋意見聴取人)

全国指導センター

<構成員の御意見>

- ・ 全国指導センターが果たしている役割をきちんと踏まえた上で、新たな方法論を取り入れていくべき(原田構成員)
- ・ 生衛業の大半は個人事業者であり、これらを応援していく全国指導センターの今後の役目は大きく、生活者が安全で安心して暮らせる努力をお願いする(前野構成員)
- ・ 先駆的な取り組みをしている各都道府県の人材を集めて、中央にシンクタンク機能を置くべき(山岡構成員)

都道府県指導センター

<構成員の御意見>

- ・ 生活衛生行政に都道府県生活衛生営業指導センターが大きく貢献していることを、国民に周知すべき(古座野構成員)

- ・日本政策金融公庫で行う融資相談と都道府県指導センターの融資相談では内容及び目的において全く異なる(谷本構成員)
- ・都道府県指導センターの重要な役割として「調整」機能がある(谷本構成員)
- ・相談・指導内容のデータベース化が重要(谷本構成員)
- ・経営指導員について、全国一律の配置ではなく大都市部では増員することや、金融機関出身等の専門家を確保することが必要(増田構成員)
- ・鳥インフルエンザやSARS等の新興感染症が発生した際、衛生面の指導、風評被害による経営ダメージの会費、消費者の啓蒙を一元的に行う必要があり、これを実施できるのが指導センターであり、現在までの実績である(山岡構成員)
- ・相談・指導内容を国レベルで可視化するためには、データベースフォームを全国統一化することが必要(山岡構成員)

公衆衛生について

<構成員の御意見>

- ・リスク原則に立脚すれば、細菌の数や衛生手順の徹底など、ローレベルの積み上げによる基礎的な備えが重要である(大澤構成員)
- ・事業内容を公衆衛生の向上・増進につなげていくことが大事(飛松構成員)